

## 2026年度入試 文学研究科 解答又は解答例及び出題意図

課程	博士課程前期
実施期	I期
科目名	社会心理学・コミュニケーション学
	解答又は解答例 及び出題意図
[1]	<p>[1] 次の設問のうちから1つを選択して、これまでの先行研究に言及しながら論述しなさい。</p> <p>1. 援助が必要とされる場面における責任の拡散と傍観者効果について、援助行動に関する先行研究に基づいて説明しなさい。</p> <p>〔解答のポイント〕</p> <p>援助行動の研究は古くから多く行われているが、責任の拡散と傍観者効果に関しては、Latané &amp; Darley(1970)の研究が広く知られている。Latané &amp; Darley は、ニューヨークで人が襲われた時、大勢が目撃していたにもかかわらず誰も助けなかったという実際のできごとを例にあげ、さらに実験を行い、このようなことが起こった要因の一つに、責任の拡散による傍観者効果があると指摘した。つまり、周囲にいる人が多いほど、自分が助けなければならないという気持ちは弱まるということを指摘した。本問題では、Latané &amp; Darley の研究をふまえて、責任の拡散と傍観者効果について説明することがポイントとなる。</p> <p>〔出題意図〕</p> <p>[1] 援助行動の研究は、社会心理学の分野において古くから行われてきたが、援助行動が必要とされる状況は多様化しつつあり、かつては存在しなかったような援助場面も発生している。近年は、例えば、ヘルプマークの利用者に対する援助の研究援助行動の研究や、災害時の援助行動の研究等が行われている。責任の拡散と傍観者効果の問題について説明することは、現在も、理論的にも実践的にも重要と考え、この点を問うこととした。</p> <p>2. 現代社会では、マスメディアとソーシャルメディアという、いわば「古いメディア」と「新しいメディア」の共存、相克が、さまざまな場面で観察されている。両者が関わる現代社会の現象について、自由にテーマを設定し、これまでの社会科学の領域の先行研究に言及しつつ、具体的に論述しなさい。</p> <p>〔解答のポイント〕</p> <p>フェイクニュースやポスト・トゥルースといった政治的問題から、情報収集の実践、消費行動の変化まで、さまざまな政治、経済、社会などのさまざまな領域から、具体的な事例を取り出し、論</p>

述してほしい。新聞やラジオ、テレビといった従来のマスコミュニケーションに関する研究、近年のソーシャルメディアについての研究などを参照することが考えられる。また声と文字、活版印刷などの代表的なメディアがそうであったように、メディア技術は常に「新しいメディア」が出現するたびに「古いメディア」と関わり、歴史が展開してきた。それらの事例との比較を通じて、現代社会における問題の固有性あるいは変わらなさを論じることできる。

〔出題意図〕

ひろく現代社会に関わる論述が可能な問題であり、①どのような事例をとりあげるかという問題設定能力、②社会学におけるメディア研究やコミュニケーション研究の知見を踏まえた論述能力をみるための出題とした。

[2] 次の事項の中から2つを選択し、説明しなさい。その際、その事項の学問的・社会的背景についても説明すること。

1. 検索連動型広告

〔解答例〕

検索連動型広告とは、インターネット広告の一種だが、バナー広告のような定型広告とは異なり、インターネットで検索を行う際に、検索されることがらと連動して、検索結果のページに表示される。リスティング広告とも言われる。検索されることがらと高い関連性を持つ広告が、検索のタイミングで示されるため、レスポンス効果が得られやすいと言われている。

[2] 〔出題意図〕

社会科学の基礎知識を問うものである。

2. フランクフルト学派

〔解答例〕

1920年代以降、ドイツのフランクフルトの社会研究所に参加した一群の思想家たちの総称。マルクス主義、精神分析学の影響のもとに批判理論を展開した。所長を務めたホルクハイマーは、アドルノとともに『啓蒙の弁証法』を著し、全体主義の問題、メディア産業の問題を鋭く分析した。戦後活躍する第二世代として、ハーバマスなども属する。

〔出題意図〕

社会科学の基礎知識を問うものである。

### 3. 自己成就予言

〔解答例〕

自己成就予言とは、人物や状況に対して抱いている根拠の無い誤ったとらえ方が、結果的に真実になることを指す。学級における実験では、一部の生徒たちについて、学力が上がる生徒たちであると先生が告げられていた場合に、当該の生徒たちは実際にIQも学業成績も上がった。この実験では、先生が当該の生徒たちに対して抱く期待や先生からのフィードバック等が予言成就の要因になったと考えられている。この他に、性格の推論においても自己成就予言が成り立つことが示されている。例えば、正直であると推論された人物が結果的に正直になるということがある。

〔出題意図〕

社会科学の基礎知識を問うものである。

### 4. アクターネットワーク理論

〔解答例〕

アクターネットワーク理論は、ブルーノ・ラトゥールらによって提唱された方法論であり、モノ、出来事、概念もまた、人々と同様に絶えず社会を再構成し続ける行為能力をもつアクターであると捉えて記述する。社会と自然、主体と客体のような境界を揺るがす記述を扱うが、気候変動など、人間が用いる技術自体が環境を大きく変え、また環境そのものに入り込んでいる現代社会における、重要な視点を提示している。

〔出題意図〕

社会科学の基礎知識を問うものである。

### 5. システム正当化理論

〔解答例〕

システム正当化理論とは、人は、現在社会に存在しているシステムを、それが存在するからという理由によって正当であると考え、このシステムを維持しようと動機づけられるとする理論である。勝者と敗者、地位の高低等の格差がある場合も、格差があるという現状を肯定し、維持しよう

とする心理が働くとされる。システムによって不利益を被っている人も、そのシステムを正当化し、維持しようとするということを示した調査もある。

〔出題意図〕

社会科学の基礎知識を問うものである。

#### 6. 表現の自由

〔解答例〕

表現の自由は、アメリカ合衆国憲法やフランス人権宣言の中で提唱された普遍的人権の一部をなす。背景には、出版物の増大を通じたコミュニケーションが抑圧されてきたことがある。日本においては、戦前、新聞紙条例や集会条例の制定にみられるようにこの権利は制限されていたが、戦後の日本国憲法において確立された。ソーシャルメディアの発達のなかで、誹謗中傷やデマといったものの規制をめぐる問題として再び大きく問いなおされているといえよう。

〔出題意図〕

社会科学の基礎知識を問うものである。

#### 7. ネガティビティ・バイアス

〔解答例〕

ネガティビティ・バイアスとは、ネガティブな情報の方がポジティブな情報より注意を向けられやすく、より大きな影響を及ぼすことである。印象形成の実験では、望ましい情報より望ましくない情報の方が重視されることや、悪印象は好印象より覆しにくいこと等が示されてきた。また、ネガティビティ・バイアスが生じる理由については、否定的な事象は目立ちやすいということや、危害をもたらす可能性のある刺激は注意を向けられやすいということ等があげられている。

〔出題意図〕

社会科学の基礎知識を問うものである。

#### 8. メディアとしての鉄道

〔解答例〕

イギリスの産業革命において蒸気機関が発明されると、それを駆動力として鉄道 rail で都市や港を結ぶ新しい交通機関が発達した。都市部では鉄道を通じて郊外生活や通勤といったライフスタイ

ルが出現し、また電信をはじめ、鉄道の運行を制御する技術の発達を促した。都市間を結ぶ鉄道は同一の時間で運行されている必要があり、全世界的な標準時の制定をおしすすめる要因となった。

〔出題意図〕

社会科学の基礎知識を問うものである。

#### 9. 間隔尺度

〔解答例〕

間隔尺度とは、個々の数値の間の差が等間隔であり、なおかつ比例関係が成り立たない数値の割り当て方のことである。間隔尺度においては、2と3、3と4の間の差は共に1であり、等間隔だが、4は2の2倍であるとは言えない。また、0は絶対的な原点ではない。一例として、気温をあげることができる。間隔尺度の数値で調査や実験の結果が得られている場合は、平均を求めたり、平均の差の検定を行ったりすることができる。

〔出題意図〕

社会科学の基礎知識を問うものである。

#### 10. 規律訓練型権力

〔解答例〕

ミシェル・フーコーは1975年の著作『監視と処罰（邦題：監獄の誕生）』の中で、近代的権力の形態として規律訓練を提起した。フーコーによれば、学校、病院、工場、軍隊、監獄で同一の形態の権力の作用がみられ、それは人々に規範を内面化させ、身体を訓育させるものであるとする。19世紀前半にジェレミー・ベンサムが考案したパノプティコン（一望監視装置）にその考えの結晶をみた。

〔出題意図〕

社会科学の基礎知識を問うものである。